

衆議院選挙の前哨戦とでもいうべき、**都議会議員選挙**が行われた。自民党に厳しい結果が出ることは予想されたが、これほどの結果になるとは驚いた。ともかく政治家不信が政治不信となり、自民党でなければ何でもいい、というような状況である。民主党の得票が全て支持者であるとは思えないが、ともかく国民は現状の変化を望んでいる。自民党も一度下野してもいいのではないか。民主党が政権を取っても、そんなに長続きするとは思えない。**外交、国防、教育**など心配される点が多い。一度大きな政界再編がありそうだ。**憲**

法改正あたりを基準に再編されることを期待する。それにしても8月の選挙とは、暑い熊谷がさらに熱くなりそうだ。

ソフトテニスでは、7月18日、19日と日本一という規模の**東日本選手権大会**を埼玉県5会場で開催する。

熊谷ドームでは、成年男女、シニア45・70・75男女の8種目が行われ、約850人ばかりの選手が参加する。

それが終わると「**うちわ祭**」だ。去年は都合により参加できなかったが、やはりお囃子の音を聞くと体がうずうずしてくる。今年も盛大に事故無く開催されることを望む。

関東地方も**梅雨**があげたようだ。いよいよこれから

「**暑いぞ熊谷**」の本番となる。

皆様、お体ご自愛下さい。

平成21年7月14日

8月に入った。梅雨の明けたという関東地方もおかしな天気が続く。また九州・四国・中国地方の集中豪雨は異常気象のせいだ。8月になってもまだ**梅雨明け**宣言の出ないこの地方、何かが狂っているようだ。それにしても災害被害者の皆さんを心からお見舞いし、一日も早い復興を祈りたい。

日本一暑い熊谷も涼しい日が続く。でも7月26日は暑かった。その日、さくら運動公園庭球場でソフトテニスの試合があった。久しぶりの暑さのせいで、午後、熱中症で病院に運ばれる選手も出た。私も4試合戦ったが、5試合目はペアーの体調不良もあり棄権した。今日も大会だが、**涼しそうなので安心した**。でも8月に入ると多分急に暑くなるだろうから、注意が必要だ。

自民党のマニフェストも発表となり、いよいよ選挙戦に突入した。お盆をはさむ選挙は初めてということだが、暑い時期に熱い選挙となるだろう。

それにしても各党のマニフェストを見ると、いかにも選挙目当ての**ばらまき**が目立つ。財源をしっかりと見極め、子孫につけを回さないことが必要だ。**バラ色の政策の羅列は実現性を薄くする**。自民・民主とも批判合戦ではなく、政策で争ってほしい。二大政党が現実近づいたいま、有権者も風に流される事無く、自分のことだけを考えず、大きな目で日本を考えよう。いずれにしてもこれから1ヶ月暑い・熱い戦いが続く。

平成21年8月1日

大型台風が過ぎ去ったような現在の心境である。

小選挙区制のため政権交代はある程度予感していたが、このような結果になるとは驚いた。我々の力の及ばない**大きな風**が吹き抜けた。**自民党の反省**が足りない面もあったが、それにしても大きなお灸をすえられたものだ。然しながら、負けっぷりも必要なもので、これだけ負けると、返って党うの結束が深まるのではないか。そうでなければ、もはや解党しかない。野に下って、しっかり反省し、新たな気持ちで出直してほしい。小選挙区制の下では、次はどうなるか解らない。ともかく民主党の政権運営をしっかりと見つめよう。

9月定例議会は3日に開会される。総選挙の結果は真摯に受け止め、我々は熊谷市の発展と市民福祉の向上のためしっかりと議論していこう。選挙の応援で忙しかったが、一般質問は1番で通告した。今回の一般質問は16,17,18日に行われるが、私は16日10時の予定です。質問内容は

1. 特定検診・保健指導について
2. 市民生活の現状及び満足度についてのアンケートについて
3. 教育問題について(特に道徳教育)

以上の3点です。インターネット放映も行っておりますが、お時間がありましたら、傍聴にお出かけ下さい。

新型インフルエンザが流行っております。お体ご自愛下さい。

平成21年9月1日

9月定例議会は今日閉会となった。補正予算や条例の改正、景観条例、請願などが採決された。決算は後日決算委員会で審議される。また一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が議決され、地域手当が現行の5%から3%に引き下げられる。この引き下げにより一般職で約1億6000万円、特別職で85万円が削減される。

政権交代が実現し、鳩山総理の外交がスタートした。国連総会での鳩山総理の演説はおおむね好評だったようだ。然しながら、「2020年までに温室効果ガスを1990年比で25%削減する」という目標は、これから大きな課題となるだろう。産業界などとの綿密な調整も無いままに、数字だけが既に一人歩きしている。

また、内政においても前原国土交通大臣のハツ場ダム、日本航空問題や、亀井金融大臣のモラトリアムの実施、赤松農林水産大臣の築地市場移転問題など重要課題が山積している。国民の期待が大きかっただけに、対応も大変だろう。マニフェストを金科玉条のごとく大上段に振りかざすのも如何なものか。

自民党も総裁選挙で3氏が名乗りを上げた。無投票にならなかったのは良かったが、今ひとつ政策が見えてこない。原点に戻り、外交・防衛・教育・憲法問題など、しっかりとした、民主党とは違う政策を論じてほしいものだ。

スポーツの秋、ソフトテニスの大会で忙しい。先日の「木島杯大会」には群馬から93歳と90歳のペアが参加された。我々もまだまだ若造、頑張るぞ。

新型インフルエンザが小学生を中心に流行ってきております。皆様ご自愛下さい。

平成21年9月25日

今年も残り少なくなった。

12月定例議会も21年度一般会計・特別会計補正予算や熊谷市中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整に関する条例、熊谷市建築審査会条例などが議決され閉会となった。

国の21年度補正予算の執行停止による影響としては「子育て応援特別手当支給事業」や本市独自の「わがまち子育て応援手当」が取りやめとなった。その他としては「小中学校における地上デジタル対応チューナーの購入及びアンテナ設置工事に対する補助金の停止」については本体であるテレビの購入に対する補助金の内示があったので、受信に支障の無いように停止された補助額537,000円を一般財源で対応することとなった。

22年度予算編成では「子供手当」が「児童手当」との併存となり、また地方に影響を与えそうだ。ともかく無理にマニフェストを実行しようとする、公約に違反することが顕著に現れる。鳩山総理には腰の座った国政運営を願いたい。

新型インフルエンザも峠を越したようで、学級閉鎖も少なくなってきた。しかしこれから寒さも本番となる。体調に充分注意して、健康で新年を迎えたい。

皆様もお体ご自愛下さい。

平成21年12月24日

それはあまりにも突然の訃報であった。4日朝、中川昭一元大臣死亡の報道が一斉に流れた。8月の総選挙で初の落選をしてから、眠れないということで睡眠薬を服用していたようだが、どうしたのだろうか。やはりふと父一郎氏の自殺が頭をよぎったのは私だけではないだろう。

そして、忘れることのできないのは、例の「酩酊記者会見」の件である。あれさえ無ければ、自民党の総裁にもなっていて不思議ではない私の好きな政治家の一人であった。

弁解するわけではないが、私自身も以前、風薬とお酒ですっかり酩酊したことがある。勿論、体調管理は責任ある立場の人間にとっては大切なことだが、あの件によって政治家「中川昭一」は既に選挙民から見放されたのだろう。今までの全ての功績がパーとなってしまった。

中川氏の死去により自民党の再建はさらに遠のくことだろう。そして、何より安倍氏とともに保守本流を支える一角が無くなってしまったのは残念だ。心からご冥福を祈りたい。

民主党政権が発足して1ヶ月が経過した。まだまだ混乱状況が続いているようだが、心配していたことも現実となりそうだ。私は先の9月市議会定例議会の一般質問で「道徳教育の充実」を訴えたが、文部科学省が小中学生に配布している道徳教育補助教材「心のノート」が日教組の意向をうけた民主党により廃止されそうだ。日教組が反対している「学力テスト」や「教員免許更新制度」も新政権で見直されそうだ。折角の教育改革路線が一気に後退する懸念がある。

今日はこれから姉妹都市NZインバーガー市から来ている議員団の歓迎会が議場で開催される。久しぶりに「トム・ソーヤ」交流協会会長にお会いできるのを楽しみにしている。

平成21年10月5日

昨日は大学の**ホームカミングデー**に呼ばれて久しぶりに早稲田を訪問した。卒業後**45年**ということで、昔のクラス仲間が全国から20名ばかり集まった。卒業後初めて会う人もいて最初は名前と顔が一致しなかったが、話している内に昔の記憶が戻ってきて、懐かしい思い出でいっぱいとなった。お互いにそれぞれの人生を生きて、現役を退き悠々自適の生活をしている人が多く、私みたいに現役は殆どいないようだ。健康でこのように会える喜びを感じながら、大いに飲み、話に花が咲いた。5年後にまた会うことを約束して散会した。

高田馬場のホテルに宿泊し、今日は**靖国神社の「創立140周年**

記念大祭」に招待されたので、靖国神社に向かった。どの位の人数かわからないほどの人出で、式典は厳かに行われた。本殿に昇殿し参拝することが出来、初めてのことで感激した。式典終了後は「遊就館」を見学し、また涙した。

最近、靖国神社に変わる無宗教の**国立追悼施設**を建設するという話が出ているが、全く馬鹿げたことだ。別の施設を作っても、「**靖国は靖国**」で、その代わりとはならない。御霊は靖国に祭られているので意味が無い。

市長・市議の補欠選挙戦が始まった。あまり盛り上がりの無い選挙戦だが、棄権だけはすることの無いようお願いしたい。投票することは有権者の**権利**であるとともに**義務**でもある。しっかりと権利を主張し義務を果たそう。記録的な低投票率にならないことを祈りたい。

平成21年10月19日

10月25日市長・市議補選が行われた。低調な選挙戦であったが、市長選挙は現職富岡候補の勝利は予測できたが、補欠選挙についてはどのような結果が出るか見当がつかなかった。岡部候補も頑張っているようだし、松島候補も民主党の風に乗って、どこまで伸びるか解らなかった。

結果は市長選挙が

富岡 清 50,302

りゅうまえ隆 9,689

で、現職富岡 清 候補の圧勝。
補欠選挙は

岡部 三郎 27,229

松島みどり 23,006

杉山 文雄 8,596

で、岡部候補が当選した。

年齢や再挑戦のハンデの中で岡部候補の善戦が目立った。

27日臨時議会が開催され、岡部議員の議席や所属委員会、特別委員会
が決定した。常任委員会、特別委員会とも私と同じ委員会となり、先輩のご
指導を期待したい。

国会では今日から代表質問が始まった。短期間の臨時議会だが、論戦を
期待したい。民主党政権もマニフェストを実行するためにはかなり無理をして

いるように見える。補正予算の凍結などは**地方自治体にも大きな影**

響を与える。有権者が民主党に投票したのは、何もマニフェスト全てを承
認したからでは無い。あまり焦らずに優先順位をつけて、もう少しゆっくりと取
り組んでも良いのではないかと。ハツ場ダム、沖縄の基地問題など大変心配さ
れる。大きな混乱が起きないことを祈りたい。

新型インフルエンザが流行っております。皆様お体ご自愛下さい。

平成21年10月28日

11月9日・10日と総務常任委員会視察で大和郡山市・京都市を訪問した。**大和郡山市**では「不登校対策」について視察した。当市は平成15年に内閣府による不登校児童生徒支援教育特区認定を受けて、平成16年度から不登校対策総合プログラム事業を実施している。適応指導教室「あゆみの広場」で得た臨床の知を生かしながら柔軟な教育活動を展開することが出来る

よう、教育課程を弾力化した学科指導教室「ASU」（不登校状況の児童生徒が、生きる希望をつなぎ、明日の世界に向かって力強く羽ばたいてほしいという願いを込めて命名・あゆみ・スクエア・ユニバース = ASU = あすを開設しております。

また、引きこもり状態にある児童生徒には IT を活用した「ASU WEB SCHOOL」を設置し、PC の貸し出しも行っております。各中学校区には勿論スクールカウンセラーを置き、また不登校児童生徒が転入学する学校を主体的に選べるように通学区域の弾力化を図っております。

京都市では「小中学校の5・4制」を視察しました。現在の6・3制は色々問題点があり、私学では既に小中一貫教育に取り組んでおりますが、公立ではまだ少ないところです。当市では平成16年度に内閣府の構造改革特区の認定を受けて4つの中学校ブロックにおいて小中一貫した特色あるカリキュラムを構築し一貫教育を推進してきました。平成20年4月に内閣府において規制の特例措置が全国展開されたことに伴い、構造改革特区の適用ではなく、文科大臣の指定により学習指導要領などによらない弾力的なカリキュラムを編成し実践しております。

「国づくりは人づくりから」と言われますが、両市とも人づくりのために大変力を注いでいることが窺われました。

平成21年11月17日

師走に入り今年も残り少なくなって参りました。国会では民主党政権が、**経済対策、沖縄基地問題**を始め、**鳩山総理の献金問題**など対策に大変なところであります。

市議会では12月3日定例議会が開会となりました。

21年度補正予算や**条例の改正**などが上程されております。会期は22日までで一般質問は15・16・17日に行われます。今議会では24人の議員が一般質問をする予定で、各日8人の登壇となります。私は今回も**1番**バッターで15日に質問を行います。今回の質問は

1. 21年度補正予算執行停止による本市への影響について
2. 内部統制について
3. 教育問題

HQC の取り組みについて

小中一貫教育について

読書について

以上の3点について質問を致します。

今日は**行財政特別委員会**が開催されました。今、議員定数の削減に取り組んでおります。議員の身分に係わることでありますので、中々意見がまとまりません。

22年3月議会までになんとか結論を出したいと思っております。

急に寒さが厳しくなってきました。熊谷市小中学校のインフルエンザによる学級閉鎖は本日**9校17学級で76人**が罹患しております。また学級閉鎖にはなっておりませんが**181名**の児童生徒が家庭で静養しております。一時期より患者数は減少したようですが、まだまだ注意してほしいと思います。

平成21年12月8日